

「心の支え合い」

私の家は直接被害をうけませんでしたが、し
かし友達の家や知り合いの人達の家は無惨に
も跡かたもなく消えました。それと同時に、
今まで大切にしていたもの、家族との数多く
の思い出の品。すべてが無くなりました。
台風の被害にあっってしまった人たちはホッ
カリと心に穴があいてしまっただようでした。
私は被害にあっただ人たちは、何も分からな
いまま家が無くなり死者が2人もでしまっ

たりして、悲しくて辛くて何も手につかない
状況なんだろうなあ。って思っています。し
かし、但馬の人たちは強かった。アドロでい
っぱいになっってしまった家の中から、1回1
回バケツや一輪車で運び出している姿を見る
と強さを感じました。

しかし、毎日のように続くアドロの運び出
し。いくらとってても全く減りませんでした。
私も手伝っていたのですが疲れが出てきま
した。もつと家の人には疲れがいたと思います

でも、ボランティアに来てくれた人のありがたさ、他の県からの励ましの言葉の数々。見ている私にも伝わってきました。でもやっぱり疲れが顔に出ていました。でも、笑顔でした。おいちゃんもおばちゃんもみんな笑顔でした。疲れていても近所の人同士互いに励ましたり、がんばろうという気持ちになりました。互いがなれたり、心にとても大きな支えになっ
ていました。その心には、どんなに悲しい事があったとしてもどうにかして生きていかなければならぬという気持ちがあったのではないかと思っています。

台風は被害だけでなく、人と人との思いやりの心も成長させてくれたのだと私は思いました。